

教科 国語 科目 文学国語

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『新編文学国語』）

使用教材：（ 浜島書店『新訂版国語便覧』 Z会『現代文キーワード読解改訂版』 隆盛社『完成日本文学史ノート三訂増補版』 明治書院『近現代文学名作選』 数研出版『豊かな語彙力をはぐくむ新しい常用漢字』 浜島書店『L T現代文3』

教科 国語

の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ 舞台設定や時代背景をふまえて読む。 ・ 人物描写や表現効果に着目しながらテーマを考え、共有する。 ・ 明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。 ・ 登場人物の境遇と心情を理解する。	・ 山椒魚	【知識・技能】 ・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] ・ 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇と心情、また、作品を読み取るための読みかたを理解し、自分の考えを述べたり、意見を述べたりすることができる。	○	○	○	21
	・ 語り手の視点を意識して書く。	・ 鞠 ・ 赤い繭	【知識・技能】 ・ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・ 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 登場人物のものの見方をおさえ、語りの特徴や場面設定、また、作品を読み取るための読みかたを理解し、自分の考えを述べたり、意見を述べたりすることができる。	○	○	○	3
	定期考査				○	○	
2 学 期	・ 登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 ・ 文体の特徴に着目し、その効果について考える。	・ 近現代文学名作選	【知識・技能】 ・ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考・判断・表現】 ・ 「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、文章全体を整え自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 語り手の視点を意識した上で、構成や展開、表現のしかたなどについて吟味しながら文章を書き、読み合うことを通じて語り手の重要性について理解を深めている。	○	○	○	22
	・ 学んできたことを活用して、ショートストーリーを書く。	・ 近現代文学名作選	【知識・技能】 ・ 文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考・判断・表現】 ・ 文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、自分の文章の特長や課題をとらえ直している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ これまでの学習内容を活用しながらショートストーリーを書き、他者からの指摘をもとに改善を図ることができる。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
3 学 期	・ 共通テストの問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解する。	・ 共通テスト対策演習 ・ 入試問題演習	共通テスト等の問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70